



120周年記念事業実行委員会～募金活動、目標額まであとわずか!～



芝間会長の挨拶と報告

3月18日(木)夜、本校創立120周年記念事業実行委員会の第4回役員会が、本校会議室にて開かれました。町議会終了後駆けつけた芝間同窓会長様のご挨拶では、募金活動に役員の方々が足を使って地道にお願いに行ったこと、そのお陰で終盤に来て募金活動がかなりはかどったこと、企業団



体様からの篤志寄付が大幅に伸びたことなどの報告がありました。また関東同窓会様など、全国の同窓生の皆様から郵便振り込みにて、続々と寄付が寄せられています。

こうして現時点で、目標額の7,980,000円に迫る7,800,000円に達していると事務長より報告がありました。今まで本校に対し愛情を持ってくださり浄財を寄せてくださった関係の皆様へ改めて心より感謝し、靴裏をすり減らして募金活動に勤しんでくださった同窓会副会長の皆様、支会長の皆様へ御礼申し上げます。目標額まであと18万円。最後の最後まで、何卒ご支援をよろしくお願い申し上げます。

次年度の準備が進行中!

生徒がいない今週は、次年度に向けた校舎外での環境整備活動が急ピッチで進んでいます。私も校用技師の方々とともに、高所作業車免許をお持ちのK先生の運転で、正面玄関前の樹木の剪定作業に参加しました。日頃校舎内で仕事をしている私にとっては、またとない気分転換にもなり、いい汗をかきました。



作業にいそしむ

また、事務室では学校の安全確保のために、側溝上蓋の設置や体育館横フェンスの補修も行っています。また、日常での校舎内ピカピカの美化活動など、敬愛する事務室の先生方による緑の下のご支援に頭が下がるとともに、感謝しきれない思いです。



困ったお話(その30) (身をもって知った生徒理解)

大人になって初めて自分の特性に気づくことがある。若いころ、定期テストの出題と採点を共同で行った時のことだ。まず私が採点をして、もう一人の先生が確認をして合計点を出す役だ。その時言われた。

『宮澤さんの採点答案は確認しづらい。〇×だけで、得点や小問ごとの小計が書いてない。』

最初、何を言っているのか意味が分からなかった。私は心の中でつぶやいた。

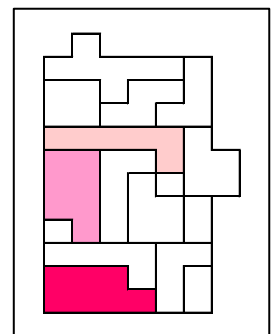
『普通こうだろうに。解答欄の枠に集中すると、配点の高い欄は暖かい色がするので何点か意識しないでもわかるだろう。また、得点はテトリスのような図形になって頭に浮かんでくるし、合計点は頭の中で組み合わせた形から直感でわかるのに、何でいちいち小計を書いて足すんだ?』と真剣に思った。そこで他の先生に訊いてみたら、こう言われた。

『宮ちゃんの「普通」は、ものすごく異常。』

胸に手を当てて考えれば、小学校のころからいくつも思い当たる困ったことがあった。

悲しい思い出もある。

このように子供たちの特性も、本人が気づいていない場合がある。だから大人の一方的な生徒理解は禁物だ。



クイズ: 何点でしょう?